

## EVENTS

KWANSEI GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL

### ■ 学校説明会 要予約

申し込みについての詳細は、本校ウェブサイトをご覧ください。(応募多数の場合は抽選)  
対象：小学校4年生以上、保護者同伴

第1回 午前の部	6/29 (土) 9:30~12:00	第1回 午後の部	6/29 (土) 13:30~16:00
-------------	------------------------	-------------	-------------------------

■ 学校紹介、施設見学、入試説明などをおこないます。(午前・午後とも同じ内容です)

第2回	9/7 (土) 9:10~11:40	第3回	10/5 (土) 9:10~11:40
-----	-----------------------	-----	------------------------

■ 全校礼拝への参加、学校紹介に加え、実際の授業や施設も見学いただけます。  
(2回とも同じ内容です)

### ■ オープンスクール 要予約

申し込みについての詳細は、本校ウェブサイトをご覧ください。(応募多数の場合は抽選)  
対象：小学校4年生以上、保護者同伴

9/21 (土)	10/19 (土)	11/16 (土)	11/30 (土)
9:10~11:40	9:10~11:40	9:10~11:40	9:10~11:40

■ 礼拝への参加、体験授業、授業や施設を見学いただけます。(4回とも同じ内容です)

### ■ 体育大会 予約不要

5/11 (土) 9:00~15:00

■ 雨天時は5/13(月)に延期します。

### ■ 文化祭 予約不要

11/2 (土) 9:00~15:00

■ 個別相談コーナー  
(対象：小学校4年生以上)を設置します。

※ご来校の際には公共交通機関を  
ご利用ください。

※今後の新型コロナウイルス感染動向、  
あるいは気象警報発令などの緊急事態により、  
やむをえず変更や中止にすることがあります。  
その場合は、速やかに本校ウェブサイトで周知します。  
ご了承ください。

## ACCESS

[大阪・神戸から最寄り駅まで]

▶ 大阪より

阪急電鉄 大阪梅田 15分 西宮北口 5分 甲東園

JR 大阪 12分 西宮  
(快速停車)

▶ 神戸より

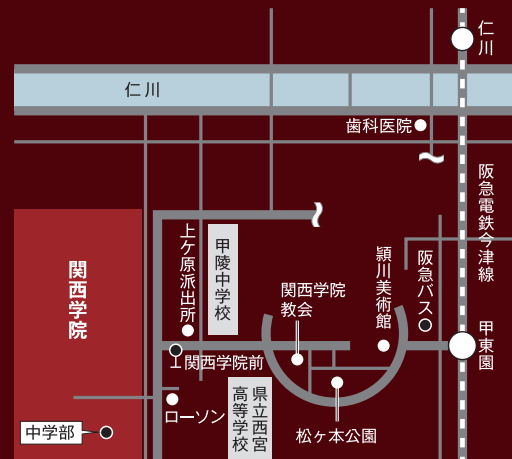
阪急電鉄 神戸三宮 15分 西宮北口 5分 甲東園

JR 三ノ宮 14分 西宮  
(快速停車)

阪急電鉄 甲東園 徒歩5分または徒歩15分

阪急電鉄 仁川 徒歩15分

JR 西宮 バス15分



# KWANSEI GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL



*"Mastery for Service"*

感謝・祈り・練達



〒662-8501  
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155  
TEL: 0798-51-0988



〈公式ホームページ〉



〈公式Instagram〉

[jh.kwansei.ac.jp](http://jh.kwansei.ac.jp)



学校案内 2025  
関西学院中学部



# Mastery for Service

## “奉仕のための練達”

1889年、創立者ランバス宣教師により、わずか教員5名・生徒19名で産声をあげた本学院。

ランバスが貫いた「真の世界市民として世界万民のために献身する」生き方は、第4代院長ベーツにより、スクールモットー“Mastery for Service (奉仕のための練達)”として明文化され、国際性、自由と自治の精神、そして本学院で学ぶ意義の礎となり、約130年の時を経て総合学園となった今も、揺らぐことない魂として、教職員・生徒たちの中に流れ続けています。







芸術  
ARTS

音楽・美術など、さまざまな分野の作品から得た感動を他者に伝える表現力を育む。

▶ P.13

キリスト教  
CHRISTIAN EDUCATION

キリスト教主義教育の根幹。さまざまな礼拝や宗教運動から神の愛と人間の尊さを学び「いかに生きるか」をさぐる。

▶ P.05

体育  
PHYSICAL EDUCATION

体育館・グラウンド・温水プールなどの施設を活用し、さまざまなスポーツに挑戦。フェアプレー精神を育み、努力が成功につながる自信を獲得する。

▶ P.11

読書  
READING & WRITING

「問う・答える(調べる)・伝える」の学びのサイクルで、課題発見力、考察力、解決力を育み自立した探究者を育てる。

▶ P.07

英語  
ENGLISH

日々英語に触れる多読や毎週の英文レポートの作成が、知識だけではなく英語で考え、発信する力を鍛える。

▶ P.09



動画で詳しく

# 5 LEARNING

# POINTS

## Mastery for Serviceを体現するグローバルリーダーの育成。

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”とは「奉仕のための練達」と訳されます。キリスト教主義教育を通して、“Mastery for Service”を体現するグローバルリーダー（世界市民）を世に輩出すること、これが関西学院のなすべき使命です。関西学院が理想として掲げるグローバルリーダーとは、他者対話し、他者に共感し、よりよい世界の創造のために力を発揮する人を指します。他者のために自らの力を発揮することは、中学部において最も重んじられる姿勢でもあります。

## 受験にしばられない人間教育

中学部から高等部への進学は推薦制をとっています。一定の学業成績を取め、人物・態度が推薦に値すると判断されれば全員が進学できます。そのため、高校受験にしばられることなく、社会で活躍するためのさまざまな能力を身につけ、豊かな感性を養い、人間性を磨く教育を実践しています。

## 高等部推薦 入学率 90%以上

高等部への推薦条件はおよそ以下の通りに定められています。

- ・ 建学の精神を体現する。
- ・ 出席日数が3分の2以上である。
- ・ 1学期、2学期、3学期成績の総平均点が65点以上(100点中)である。
- ・ 1学期、2学期、3学期成績の各教科の平均点が55点以上(100点中)である。



# CHRISTIAN EDUCATION

5 LEARNING POINTS Mastery for Service



## キリスト教

思いやりと高潔さを抱き、  
社会に仕える「世界市民」に



動画で詳しく

## 神の愛と人間のいのちの尊さを学び「いかに生きるか」を探る

### ■ 3年間毎朝 600回以上 毎朝の礼拝

中学部のキリスト教主義教育の根幹をなします。毎朝、全校生徒と教員が参加し、キリストの教え、神の愛を学び、「いかに生きるか」を考え、勇気と希望を持って生きる者としての成長を促します。

### ■ 宗教運動

年2回、春と秋に開催されます。ゴスペル歌手、被爆体験の語り部の方、大学の先生などを講師に招いての礼拝を実施。テーマをめぐる話し合いをしたり、感想文を書いたり、講演内容の理解を深める機会をもちます。

### ■ 全校礼拝参加人数 700人以上 さまざまな礼拝

イースター（復活祭）礼拝、花の日礼拝など特別な礼拝を行っています。中でも聖歌隊の合唱と共にろうそくの灯のみで行うクリスマス燭火賛美礼拝は、年間の中学部の宗教行事のハイライトと言えます。

### ■ 聖書科の授業

中学部では道徳の授業の代替として、「聖書」の授業が実施されています。聖書を通して、いのち・人権・平和などのテーマについて学びます。他者を尊重し愛すること、多様な価値観を認め共に生きることをキリスト教の教えから深く考えます。

### ■ 奉仕活動

「人を愛し、人のために尽くす」精神は、関西学院で長年継承されてきたもの。礼拝や宗教運動の話に触発された生徒たちが、インドの農村に井戸や教科書を贈る運動を始め、さまざまな活動を行っています。

### ■ 被災地との国際交流

2015年のネパール大震災で被災したネパールの子どもたちに絵手紙を届ける活動、同年の大型サイクロンで被災したバヌアツ共和国への支援物資として、歯ブラシや文房具を送る活動などが今も続いています。



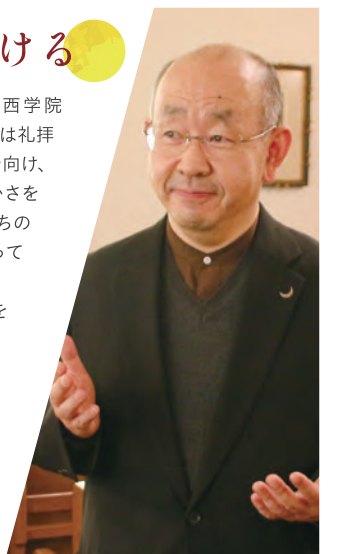
## 世に仕える人となるため生涯学び続ける

12月に行われる「クリスマス燭火賛美礼拝」。ロウソクの火だけが灯り、パイプオルガンが響きわたる時間は、とても厳かな雰囲気につつまれ、その空気感はとても印象に残っています。キリスト教の教えは、人としての大切なことを教えてくれます。聖書の中に「愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい」という一節があります。私は常にこの言葉を心にとめています。互いを尊重し、スクールモットーを体現できるようキリスト教の学びを深めたいと思います。

2023年度 2年生  
西村 多香音

「聖書と礼拝なくして学院なし」という関西学院第二代院長の言葉が示すように、中学部では礼拝の時間を大切に守り継いでいます。神に心を向け、語られる話を静粛に聞くとともに、清らかさを伴った賛美と祈りをささげることが、私たちの生活のリズムとなり、力となることを願っています。生徒たちには、落ち込んだ時には深呼吸をして祈り、戸惑った時には天を見上げるゆとりを抱き、裏切られた時には許す勇気を持ち、妥協したり、諦めたりせずに信じ抜く希望を捨てず、聖書が示す究極の愛を目標に歩んで欲しいと思います。

宗教主事・聖書科  
福島 旭





# 5 LEARNING POINTS Mastery for Service

# READING & WRITING



## 読書

「問う・答える(調べる)・伝える」で繰り返す、学びのサイクル

### 自立した探究者を育てる - 卒業レポートの作成 -

#### ■ 問う

図書館にある様々な資料を活用して、自分の興味関心を探ります。先行研究の理解や先生との個別相談を経て「問い」が生まれます。



動画で詳しく

#### ■ 答える(調べる)

「問い」についての参考資料を探索します。先生との個別相談も利用しながら、仮説と論理を立てます。それらをもとに、現地調査も加えながら、「答え」としての必要情報を集めていきます。



動画で詳しく

#### ■ 伝える

「答え」を「伝える」方法は、レポート、新聞、ポスター、レジュメなどさまざま。これらをもとにして発表(プレゼン)することで、自ら、あるいは他者から疑問が生まれます。新たな「問い」の誕生です。



動画で詳しく

#### ■ 週1~2回の読書科の授業

読書科は、60年以上も続く中学部伝統の授業です。読書の習慣づけ、図書館の活用や、知識・情報の活用や探究の技術を行事と連携しながら体系的に習得し、学びの集大成として卒業レポートの作成を行います。

#### ■ 5つの外部コンクールで6人受賞 さまざまなコンクールに出品

先生の指導も受けながら言語活動に関するさまざまなコンクールに参加し、読書科の授業などで培った言語能力を試します。毎年多くのコンクールで入賞し、絵本の原作が評価され、出版された生徒もいます。

#### ■ 中学部図書館年間貸出冊数 20,000冊以上 読書カードで読書の習慣化

どのような本を読み、どのようなことを知り、どのように考えたのか。読書カードに書いて、読書の習慣化をはかります。3年間書きためた読書カードは、自らの成長の記録でもあります。



### たくさんの本と出会い自立した探究者となる

読書を習慣化することで語彙力がつき、文章を書く際にも同じ言葉の繰り返しではなく、違う言い回しができるようになりました。読書科の授業では、約7万冊を所蔵する図書館について詳しく知り、本を利用して学びを深めます。自分が調べた情報から、レポートやポスター、エッセイを作成し、更に事実に基づいて自分の意見を述べるということが多くあります。本だけではなくインターネットを利用し、どの情報が正確なものなのか正しい情報を見極める力がついたと思います。

2023年度 3年生  
武蔵 奏音

中学部では「読書」を「読」み「書」き=基本的なリテラシーとも理解しています。本を通じて、読む、書く、調べる、思考する、探究するという基本的なリテラシーを得ることができます。読書科の授業では、生徒一人ひとりにあわせた個別最適化のアプローチに努めること、必ず答えがあるわけではない問いに対して直線的に学ぶのではなく螺旋的に学んでもらうことを大切にしています。自立した探究のための考え方や技術を学ぶことにより、最終的には自分だけで探究ができる「自立した探究者の育成」を目標としています。

司書教諭・読書科  
河野 隆一





# ENGLISH

5 LEARNING POINTS Mastery for Service

## 英語

Knowledge(知識)と Usage(使用)を統合し、「伝わる英語」を



動画で詳しく



## 自分の考えを英語で発信する力を養い、異文化理解を深める

### ■ 英文レポート作成と日々の「多読」

2年生は「英語で書くこと」、3年生では「論理的に文章を組み立て、説得力のある英文」を書く訓練として、毎週英文のレポートに取り組みます。生徒の習熟度別に合わせて授業時間の10分間で、反復練習と英語運用の基礎的な力を伸ばす「多読」を行い、さまざまなスタイルの英文を書けるように指導します。

### ■ 英語弁論大会

冬休みには多くの生徒が英語の弁論原稿執筆に挑戦します。優秀と認められた生徒は、その内容を英語弁論大会で発表します。このほか学外の弁論大会や兵庫県の暗唱大会にも学年を問わず本校の生徒が参加しています。

### ■ ティーム・ティーチング授業

日本人教員とネイティブ・スピーカーの教員が協力して指導する「ティーム・ティーチング」を導入。これにより、「英語を母語とする人の特有の表現」を学び、日本人がつかずきやすい点の克服を図ります。

### ■ 諸外国・地域との交流活動

海外の学校の生徒と文通をして互いの国について調べて、その内容を元にプレゼンテーションを行います。自分の英語が通じるかどうかを確認するとともに、同世代との交流を持つ機会になっています。

### ■ 実用英語検定試験

最終目標を一般生徒は3年生で英検2級もしくは準2級、帰国生は英検1級相当の実力を身につけるとし、実用英語検定試験の受験、希望者を対象に模擬面接など試験対策の支援も行います。



## 世界と繋がる喜びを知り羽ばたいていく

中学部の英語はレベルが高いと聞き不安でしたが、実際授業を受けてみると、基礎から丁寧に教えて下さり、タブレットを用いて楽しく学べる工夫もありました。そのお陰でより一層英語に興味をもてるようになりました。苦手だったライティングも授業でエッセイにたくさん取り組んだことで、英作文のコツを習得することができました。1、2年生の時には英語弁論大会にも挑戦し、英語科の先生にご指導いただいたことで、多くの人の前でも恥ずかしながら、自信をもってスピーチできるようになったことが一番大きな成長です。

2023年度 2年生  
吉本 日向子

1年生からネイティブ教員が教える授業があり、早い段階から英文の暗唱や発表を行うことで、英語を使う機会を多く持つようになっています。またタブレットを使って文法や語彙の定着をはかりながら、スピーキングやリスニングの課題も実施し、楽しく英語の4技能を学べるよう工夫しています。楽しさは興味につながり、興味をもつことができれば、授業以外の時間でも取り組んでみようという気持ちになります。英語は自分の気持ち次第でいくらでも伸びます。授業をしっかり聞き、わからないことは先生にどんどん質問してください。

英語科 教諭  
ジュリア・M・スラッシャー





# PHYSICAL EDUCATION

5 LEARNING POINTS Mastery for Service

## 体育

健やかで逞しい  
心と体を育む



### フェアプレーの心を育み「できる」自信を獲得する

#### ■ 3年間 1人平均 900km 週4日の駆け足

水・土曜日を除く平日の7時間目に、毎日3km以上を目標にした駆け足を全員参加で行っています。当初は1km、2kmしか走れなかった生徒も、次第に持久力と体力が向上し、走れる距離が伸びていきます。



#### ■ 男子10km 女子7km マラソン大会

日頃の駆け足運動の成果を発揮する機会の一つが、毎冬に開催されるマラソン大会です。「30位入賞を狙う」「去年より順位を上げる」「完走を目指す」など、生徒一人ひとりが自分の目標を決めて参加します。

#### ■ 保健体育の授業

総合的な体づくりのために、陸上競技・器械体操・球技・武道・水泳・ニュースポーツなどさまざまな種目のスポーツを行います。これらを通してスポーツマンシップやフェアプレー、チームプレーを学びます。

#### ■ 体育大会

体育大会の準備は2・3年生が担当。学年を越えた1～3年生でチームを組み、さまざまな種目で競います。激しくぶつかりあう競技もありますが、フェアプレーの精神と安全管理のもとで実施しています。



動画で詳しく

#### ■ 心肺蘇生法の授業

2年生の保健体育の授業で、心肺蘇生法を学びます。心臓突然死についての知識を、養護教諭や医療関係者のアドバイスのもとに学びます。その上で、全員が専用キットを使用してAEDの使い方や胸骨圧迫の実習をします。

### 強き精神力を身につけるため己と向き合う

体育は、先生も授業も楽しく、とてもいい気分転換になっています。プールや芝生のグラウンドも使いやすく、安全性を考えられた施設が整っています。プールの床は生徒の身長に合わせ、上下するようになってとても便利です。また週4日の駆け足では、15分程度の限られた時間でどこまで走ることができるのか、自分の限界はどこなのか、自分自身の体力を知ることができ、忍耐力もつきます。体育大会の練習が一番楽しむことができ、優勝できた時のクラスの雰囲気は団結力も高まり、クラス全員との関係性を深めることができました。

2023年度 2年生  
平 洸太郎



中学部では、暑い日も寒い日も駆け足が実施されます。駆け足を通じて、しんどいことに対して我慢する力や、それでも頑張ろうとする姿勢が上級生になるにつれ見られるようになり、開始前から自主的に走る生徒が増えると頼もしく思えます。保健体育の授業では、失敗しても積極的なプレーや試行(思考)錯誤を評価しています。得意種目の実力を伸ばす力。また苦しい種目に対しても目標を設定し、どうしたらできるようになるかを考え、練習し克服していくプロセスを経験し、将来への糧として欲しいと考えています。

保健体育科 教諭  
山道 修平





## 芸術

心が揺さぶられる  
感動体験を通して  
豊かな心を育む



## 自分を表現できる喜びと感動できる心を育む

## ■ 音楽コンクール

文化祭の最初に行われる、各学年クラス対抗の音楽コンクール。指揮者、伴奏者、パートリーダーの生徒を中心に、練習を繰り返し、本番では美しい合唱を披露します。一生懸命に取り組む大切さを実感し、クラスの絆を深めます。



動画で詳しく



## ■ 演劇コンクール

文化祭ではクラス対抗の演劇コンクールも実施されます。演劇の経験がない生徒たちが脚本の執筆から配役、使用する音楽、照明などの効果のすべてを自主的に行います。総合芸術である演劇を通して、一つの劇を作り上げる過程で自分の得意なことを見つける機会にもなっています。



## ■ 美術展

文化祭の美術展では、生徒全員の作品を展示。友人や先輩、後輩の作品を鑑賞し、感想を聞き、新たな目標を発見します。3年生制作の最優秀ポスターは文化祭パンフレットの表紙になります。

## ■ 芸術鑑賞会

さまざまな芸術にふれる機会として、年に一度芸術鑑賞会を行っています。学内外で演奏や伝統芸能を鑑賞します。プロの芸術や生の表現から得られる感動は、生徒自身の表現活動へとつながる貴重なものです。

## 表現の自由を知り多様性ある世界観を磨く

音楽コンクールは3年生の学年合唱が印象に残っています。力強い男声と響き渡るソプラノとアルトがひとつになり、音におされた感覚を今でも覚えています。コンクール前のクラス練習では、初めはうまくまとまらず、限られた時間を有意義に使うことができませんでした。ですが徐々に声かけが増え、スムーズに進むようになりました。コンクールが終わっても声かけは続いていて、クラスが音楽を通してより一つになれた気がします。コンクールやクラス展を通して、お互いの意見を出し合い、協力し合うことの大切さを実感しました。

2022年度 2年生  
西久保 凜心

美術の授業では、表現分野・鑑賞分野ともに3年生になると、自分で意思決定をして取り組む発展内容になりますが、生徒たちは1・2年生で学んだことを活かして楽しみながら制作や鑑賞を行っています。芸術の分野は好き嫌いや得手不得手がはっきり分かれる教科だからこそ、できるだけ多くの作品に触れること、また様々な制作経験により、「なぜ好きなのか」「何が得意なのか」を自分で見つけて欲しいと思います。芸術を通して、自分自身を知り、自分の考えを作品や言葉で人に伝える力をつけてもらいたいと考えています。

美術科 教諭  
矢形 信子







## 関西学院中学部生徒会とは

関西学院中学部生徒会は、関西学院中学部の全生徒を会員として成立します。選挙で選ばれた生徒会役員を中心として、自治の精神をもとに、生徒の勉学、情操、体位を向上させ中学部生活を充実させることをその目的としています。生徒会役員は、会長、副会長、宗教総部長、文化総部長、運動総部長、風紀美化部長、企画部長の七名で構成されています。中学部の行事や生活を見えるところだけでなく影ながら支える役割もたくさん担っています。



# Student Council ACTIVITIES

— 生徒会の活動 —

中学部は限りなく自分を成長させてくれる場所です。お互いの個性を認め合い、やりたいことに全力で応援してくれる仲間や先生方。尊重し合えるからこそ、新たな視点や可能性に気づかせてくれます。



## 伝統を受け継ぐとともに、 新たな改革を

生徒から校則に関する意見が出た場合、各クラスの級長が集まる代議員会で可決されると教師会との交渉に進みます。その際、生徒会役員は改定に向けて生徒たちが守るべきルールなどを考えた上で、生徒指導部と交渉を進めていきます。通学時の運動靴の着用許可、校内靴の指定色の変更、熱中症対策のための通学時の帽子着用などは、生徒会の交渉によって実現しました。校則の変更に伴う交渉には時間がかかるため、交渉している生徒会役員の卒業までに変更が反映されるとは限りません。それでも、後輩たちの生活をよりよくするために生徒会役員は行動を重ねてきました。



## “自治の場”の一つ

中学部図書館にはマンガの本棚があります。これもかつての生徒会の交渉の結果認められたものです。そしてこれが長年続いているのは、生徒による自治の結果です。生徒会のクラブ活動である図書部では、図書館の先生とともに「図書館選書基準」をつくっています。その基準のもとに、生徒のリクエストを照らし合わせて、図書館に入れるマンガを決めています。最近では、『呪術廻戦』『ゴールデンカムイ』『終末のワルキューレ』『SPY×FAMILY』『チェンソーマン』『ブルーロック』などが図書館に入りました。図書館は生徒の声を反映した自治の場となっています。



# 読書科

## 自立した探究者の育成

読書科の授業では、自ら課題を見つけ、その課題を解決するための方法・技術・考え方を学びます。  
 図書館を使いこなすことはもちろん、ICTも活用することで多くの情報を収集します。  
 2年生の冬からは、卒業レポートの作成をスタート。  
 一人ひとりが独自の「問い」を探し、納得いくまで探究を続けます。授業を通じて、主体的に学ぶ力だけでなく、多様な情報を正しく扱う力、物事を俯瞰しバランスよく判断する力も育み、社会に必要な基礎力を身につけます。



# 技術・家庭科

## ものづくりを通して「正解の決まっていない問い」に挑む

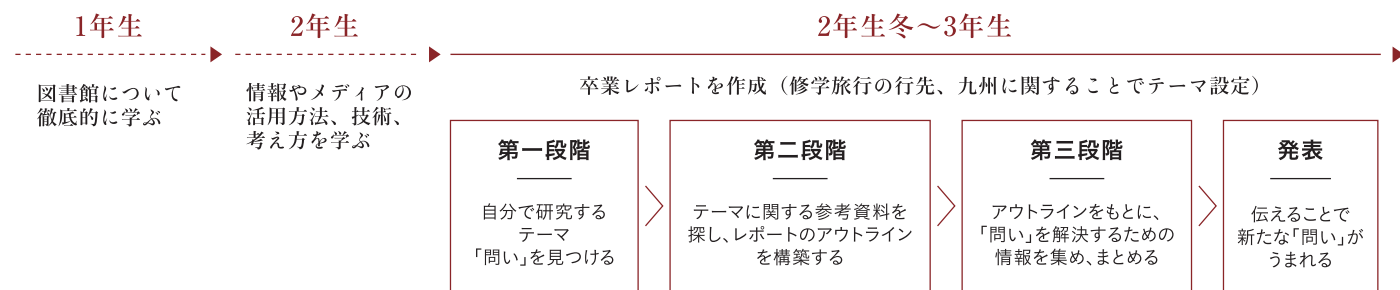
技術・家庭科の授業では、「自由な発想力」や「創造力」を鍛えます。  
 中学2年生では班ごとに分かれ、各チームが「創造ロボットアイデアコンテスト」への出場を目指してアイデアを出し合い、0からオリジナルロボットを制作していきます。  
 またアイデアを仮想空間で形にするKGクラフトでは、それぞれの視点から問題点を探し出すことで、考えをより深めていきます。  
 「正解が決まっていない問い」にチームで力を合わせて挑戦することを通じて、「ものづくりの本質」を経験することができます。



動画で詳しく



## ORIGINAL PROJECT INSIDE THE SCHOOL

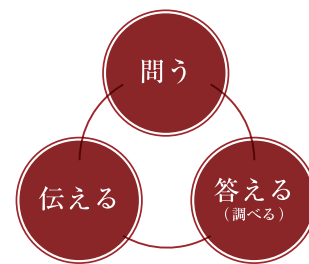


### 個別カンファレンス

卒業レポートは生徒によってテーマも進捗も異なるため、生徒一人ひとりへの個別カンファレンスを大事にしています。それぞれの状況に応じた資料の紹介や情報収集のアドバイスを実施することで、生徒たちが主体的に学べるようサポートします。

### 資料収集・情報カード

資料収集の方法は、図書館の蔵書70,000冊、新聞、DVD、WEBデータベース、論文など多岐に渡ります。これらの情報を効率よく収集し自在に活用するため、媒体ごとに色が異なる情報カードを活用しています。例えば図書は黄色、論文はピンクなど、情報カードの色で一目で情報に偏りがいかに判断することができます。



## ORIGINAL PROJECT INSIDE THE SCHOOL

### 自分たちで設計するところから始めるだから、見つけられる

#### 授業を通して身につく4つの力

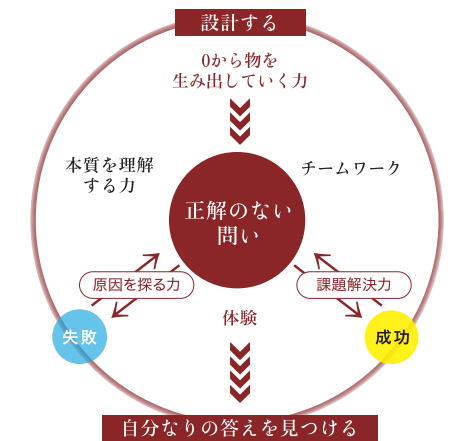
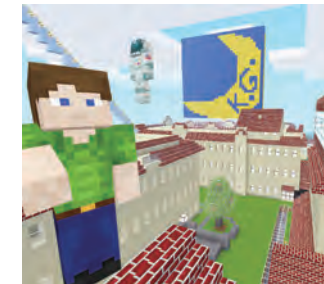
- 自分たちのアイデアを出し合う [発想力]
- 0から物を生み出す [創造力]
- トライアル&エラーを繰り返しながら完成させる [課題解決力]
- チームで力を合わせて目標を達成する [協働力]

### 仮想空間で校舎改造!?

KGクラフトでは、「今の校舎をより快適で理想的な環境にするためには」という課題にアイデアを出し合い、1つのワールド(仮想空間)でクラス全員が作業を進めます。そのためには互いの意思疎通が重要で、コミュニケーション力と限られた時間での課題解決力が必要です。ゲームの仮想空間での経験を通じて、現実の問題に取り組むための力を身につけていきます。



動画で詳しく



### 「読書科の学びの集大成“卒業レポート”」

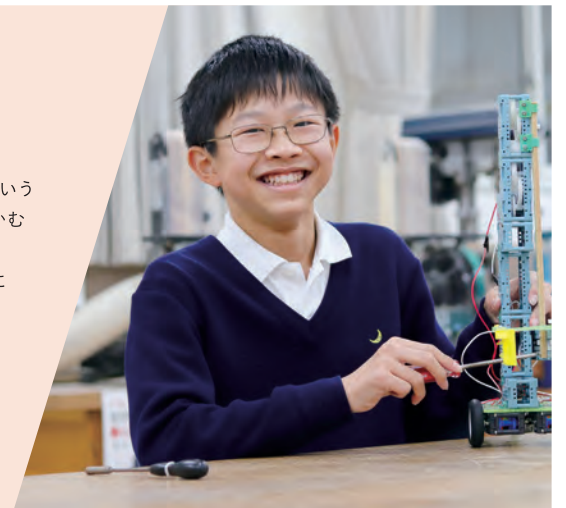
2023年度 3年生 吉岡 明衣子

読書科の授業で学んだことを活かし、2年生の冬から卒業レポートを作成します。テーマを決定したら、それに関する文献を中学部の図書館で探し、情報カードにまとめていきました。参考文献が図書館にない場合は、リクエスト制度も利用しました。書籍だけではなく、ICTも活用し作成者が明確なサイトであるか確認しながら情報を集め、修学旅行先でのフィールドワークでは、現地の方へのインタビューや追体験を通してさらに検証を進めました。先生は、生徒全員がレポート作成に全力で取り組めるよう、細やかな配慮や声かけをしてくれます。個別相談もあるので、それぞれテーマや進捗が異なっても、一人ひとりにあったアドバイスをいただき、わからないことを相談することができました。Google Classroomの読書科のWEB上でも質問・相談に応じてくれます。レポートを発表する際には、わかりやすく、正確な情報を伝えるということを意識するようにしました。

### 「工夫と改良を重ねたこだわりの作品」

2023年度 2年生 樋口 清義

技術・家庭科の授業で制作したロボットは、アイテムを安定して2本ずつシュートできるというのが一番の特徴であり、一番こだわったところ。アームの先端でもアイテムをしっかりつかむことができ、小回りがきくようにサイズを極限まで小さくしました。完成させるまでにはとても時間がかかり、つかむ力を強くするため何度も部品の大きさ等に改良を重ねました。難しい仕組みについては、先生が見本を作ってわかりやすく教えてくださいました。新たなアイデアが浮かび相談した時も3Dプリンターでそのアイデアに沿った部品を作ってもらい、色んなパターンを試すことができました。アイデアを形にできることはとても楽しいですが、それと同時に難しさもありました。問題を解決するには、諦めずに繰り返しやり続けるしかないと思います。今後も授業で学んだ知識や技術を活かし、普段の生活でも役立つものを作りたいです。





# キャンプ

野外での共同生活を通して  
「勇気」と「献身」を体験する

中学部教育における大きな特徴の一つがキャンプです。助け合いの気持ちと自立心、困難に立ち向かう精神力などを養います。1年生は入学式直後に行われる新入生オリエンテーションキャンプ、2年生は夏休みに青島キャンプに参加します。ともに学ぶ仲間と非日常の環境の中で生活することによって、普段の生活がいかに恵まれているものかを知るとともに、みんなのために汗を流すことの尊さを体験します。



# 国際交流

世界に視野を広げ、  
世界のために貢献できる資質を養う

日本とは違う国・地域の文化や歴史、人、社会を理解し、偏見を持たずお互いを尊重する姿勢を育むことを目的に、インドへの親善訪問旅行や英語圏への研修旅行を実施。英語の上達だけでなく、生徒の視野を世界に広げる機会となり、これからの時代に欠かせないグローバルな精神を養い、将来、世界のために貢献することができる資質を身につけます。



## ORIGINAL PROJECT OUTSIDE THE SCHOOL

### grade 1

#### 千刈キャンプ (新入生オリエンテーションキャンプ)

入学式直後に実施  
新しい友人とともに共同生活

1年生は中学生活の第一歩として新入生オリエンテーションキャンプに参加します。場所は三田市の関西学院千刈キャンプ場、2泊3日の日程で、新しい仲間たちと共同生活を行います。キャンプには新3年生と大学生のリーダーが同行し、新入生は先輩の姿を間近に見ながら関西学院精神を学びます。泥まみれになりながらラグビーをする「メチャビー」で、泥をかぶりながらゴールをめざす「勇気」や、ボールを持った仲間をサポートする「献身」を体験します。

#### EXPERIENCE PROGRAM

- 開会・閉会礼拝
- 野外炊さん
- メチャビー
- キャンドルライトサービス
- クラス旗作成
- キャンプデューティー(キャンプ場内の片づけ) ほか



### grade 2

#### 青島キャンプ

無人島で自分たちの力で過ごす  
3泊4日の「中学部の成人式」

2年生が体験する青島キャンプは「中学部の成人式」と呼ばれています。電気もガスも水道もない瀬戸内海の無人島・青島で、仲間とともにテントの設営から火起こし、食事づくり、草刈り、トイレの清掃、生ごみの処理まですべて生徒たち自身で行います。キャンプという不便な生活のなかで日々の生活の豊かさに感謝し、自主的な行動の大切さや集団で生活する意味などを学びます。失敗を恐れず挑戦する姿勢を育み、身も心もたくましく成長する大事な行事です。

#### EXPERIENCE PROGRAM

- テント設営
- 全体ワーク(島の開拓)
- 班別自由行動
- カウンシルファイヤー
- キャンプデューティー(島内を自然の状態に戻す) ほか



### grade 3

#### インド親善訪問旅行

40年近いつながりを大切に「多様性」を学びあう

1983年から夏休みに3年生を対象としたインド親善訪問旅行を行っています。当初は生活基盤の援助活動が目的でしたが、現在は農村部の訪問を通して交流を行い、世界の課題を考える機会となっています。コロナ渦でもオンラインで交流会を持ち、農村部で活動を続けるNGO団体への献金を送りました。



#### オセアニア英語研修旅行

ニュージーランドのホームステイで異文化に触れよう

2014年度より夏休みの約2週間、ニュージーランド・クライストチャーチ市にあるミドルトン・グレンジ校でホームステイをしながら、現地の子供たちと文化交流を続けてきました。さらに2025年度より2年生の3学期にターム留学を始める予定です。期間は1月から4月上旬です。

#### その他の海外研修

2023年の夏休み(7月下旬)より、実践活動型米国短期留学ALEXに参加し、ロードアイランドやモンテレーにてボランティア活動とホームステイを約2週間体験しています(3年生のみ)。また、8月上旬の一週間、韓国パジュ英語村での英語研修に各国の子供たちと参加しています(1年生のみ参加)。また8月下旬にはグアムイングリッシュキャンプが約1週間あります(1年~3年生参加)。様々な海外研修を通して視野を広め豊かな経験を積んでください。





# Message From GRADUATES

卒業生の言葉



動画で詳しく



## 関西学院で学べたことに感謝しています

1929年 中学部(旧制)卒

**日野原 重明** 聖路加国際病院名誉院長 (2017年7月18日没)

関西学院の聖書の時間に学んだ「善きサマリヤ人」のように、医者として人種や年齢を超えて、病む人のために生涯をささげるのが私の務めであると考えています。そういう意識、そういうスピリットが、中学部の間に私に植え付けられたのではないかと考えています。医者でありながら世界中で宣教活動や教育に従事したランパス先生をはじめ素晴らしい先生方によって支えられてきた関西学院で学べたことに感謝しています。



## ここにしかない学びと仲間との出会い

2018年 中学部卒

**中野 紗羽** 関西学院大学社会学部3年生

英語の授業が毎日あったことで英語に興味を持ち、大学でカナダへ留学するきっかけになりました。また読書科の授業でのレポートの書き方や参考文献の扱いは大学でも役立っています。英語科と読書科の授業は関西学院中学部ならではの特徴があります。そして、部活動でもダンス部のキャプテンとして、仲間と多くのことを共有できたことは私にとって貴重な経験でした。振り返ると、感謝・祈り・練達と言葉通りに学び、充実した中学部生活を送ることができました。

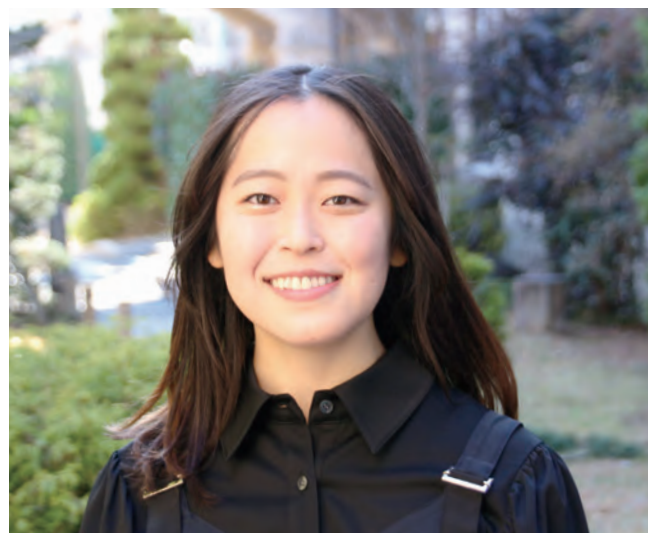


## 人生の根幹を形成する場になった中学部

1973年 中学部卒

**薄井 修司** 株式会社ウエルネスサプライ 代表取締役社長

中学部は、私にとって自分の生き方の根幹を形成した場になりました。仲間と助け合うキャンプやメチャピー、日々の礼拝など、学校生活を通して自然と“Mastery for Service”というスクールモットーが浸透していきました。特に、先生方が何事にも親身になって対応してくれたことが大きかったです。同じく中学部で学んだ息子にも、関学の精神がしみ込んでいると思います。これからも社会のため、人のために務めたいと考えています。



## 中学部での学びの大切さを実感

2016年 中学部卒

**松本 真実** 関西学院大学国際学部卒  
株式会社ファーストリテイリング 2024年度就職

中学部での読書科の授業がリテラシーの基礎を創ってくれたと感じます。読書の習慣がついたことで文章への苦手意識がなくなり、大学の卒業論文でも抵抗なく、楽しんで執筆することができました。中学生のうちから名作に触れ、感受性が豊かになって共感性が強くなったことも就職で採用された一因だと思っています。また毎朝の礼拝では、先生方の経験談をもとにした非常に深い話が多く、自身を内観することができ、自分に素直に向き合えるようになったと思います。



## 良き師・友・先輩に出会える学びの場

1995年 中学部卒

**城戸 武洋** 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 審査部  
投融资審査課 課長

中学部での学びを通じて「海外の困っている人のために尽くしたい」という思いを持ち、関西学院大学で途上国の開発を学んだほか、民間企業や海外大学院で経験を積み、現在、途上国の経済・社会開発を支援する仕事に就いています。部活動やキャンプに、卒業生である関西学院大学の学生が参加してくれるのが中学部の魅力だと思います。良き先生や友人、先輩と出会える環境の中で、自分の将来をじっくりと考えてみてほしいと思います。



## 中学部に入っていなかったら、たぶん芸人やってないです

1996年 中学部卒

**橋本 直** 吉本興業株式会社所属  
漫才コンビ「銀シャリ」メンバー

中学部の生徒はみんな自立していて意識が高かったのも、「えー、もうそんなこと考えてんのや?」と思うことが多かった。積極的に活動したり、何かにめっちゃくちゃ詳しく。そんな生徒達が互いに「オモロイやつやん」と個性を尊重していて、非難したり排除したりしない。それで、自分も堂々と自分の個性を主張できるようになったのかな。中学部に入っていなかったら、たぶん芸人やってないですね(笑)。



# Club Activities

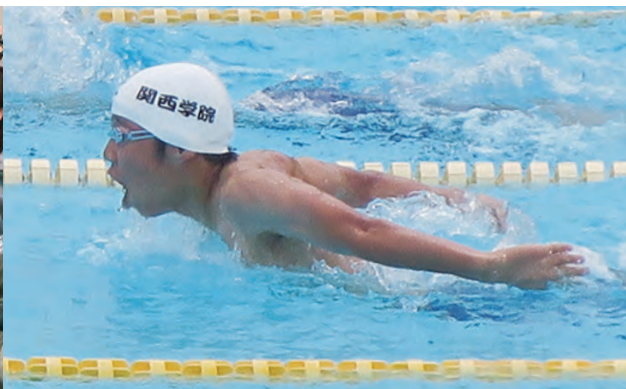


関西学院大学 2021年度4年生 徳富 敦也

2021年度 サッカー部2年 片山 航成

中学部でサッカー部に所属していた頃、顧問の先生や先輩方が熱心に指導してくれた姿に憧れ、私も中学部生の助けになりたいと思いコーチになりました。  
 「経験だけで教えないこと」、これはコーチになって顧問の先生に初めてもらった言葉です。経験だけでなく、常にそれぞれの選手にあった多様な方法でアプローチができるよう勉強しています。また、コーチを務めたことで自らの成長も感じています。相手の気持ちを考えること、周りをよく観察することを含めたリーダーシップや、学び続ける大切さを実感することができました。

小学校からサッカーを続けてきましたが、中学に入って新しいポジションに挑戦することになりました。最初のころは全然上達せず、悩んでいた時期もありました。そんな時にOBのコーチから様々なアドバイスをもらったことで、どんどん実力がついていきました。サポートしていただいたことに、感謝でいっぱいです。  
 大学生の先輩たちは授業や課題でいそがしいに関わらず、僕たちにサッカーを教えてくれるので、自分自身も後輩たちにサッカーを教えられるような大学生を目指したいです。



クラブ活動

運動総部

<男子・女子>

バスケットボール部  
陸上競技部  
サッカー部

水泳部  
テニス部  
剣道部

卓球部  
ラグビー部  
ダンス部

<男子>

タッチフットボール部  
野球部

<女子>

バレーボール部



動画で詳しく





2021年度 吹奏楽部2年 野崎 れあ

2017年中学部卒 長手 鈴佳

サポートに来てくださる大学生の先輩は、楽器のことでなく、部活動の運営に関しても私たちを支えてくれます。上手くいかないことがあり悩んでいるときも、親身になって部員に寄り添ってくれる大切な存在です。時には厳しく指導をしていただくこともありますが、それを乗り越えたあとに自分たちの成長を実感できることがとても嬉しいです。私が大学生になったときには先輩たちのように、より良い部活動にするにはどうすれば良いかを考え、現役の部員と一緒に吹奏楽部を作っていきたいと強く思います。

吹奏楽部では、音楽の楽しさはもちろんのこと、礼儀や挨拶、コミュニケーションの大切さを学び、私自身を大きく成長させることができました。そんな中学部に恩返しがしたく、部活動のサポートを行っています。このサポートでは、人前に立って音楽的な指導をするだけでなく、人として大切にしてほしいことを伝えたり、幹部やリーダーの指導を任せていただいたりと多くのことを経験することができました。後輩たちのステージが上手いって時や、一人ひとりの目標が達成されたときにはとてもやりがいを感じます。将来は教師を目指しているので、このサポートで得た経験を活かしていきたいです。



クラブ活動

文化総部・宗教総部

<文化総部>

- 美術部
- 図書部
- グリークラブ(合唱部)
- 吹奏楽部
- 理科部
- 英語部

<宗教総部>

- J.H.C. (宗教部)
- 聖歌隊



動画で詳しく



# ANNUAL EVENTS

年間行事 豊かな人間性や自主性、  
独立心を育む各種行事を実施



関西学院中学部  
公式YouTube  
学校紹介や卒業生へのインタビューなど学校の  
ありのままが伝わる動画を継続的に発信。



## 文化祭

5日間にわたり準備・発表が行われる、中学部の一大イベント。展示発表や演劇・ダンスのステージ、出し物、全校生徒の作品を展示する美術展などが行われます。



4

April

- 入学式
- 新入生オリエンテーション  
キャンプ
- 始業式

5

May

- 健康診断
- 母の日礼拝
- 新入生歓迎体育大会
- 春季宗教運動
- 人権教育講演会
- 中間試験

6

June

- 教育実習
- 花の日礼拝

7

July

- 期末試験
- 期末特別行事
- 終業式
- 3年生海洋冒険キャンプ

8

August

- 3年生インド親善訪問旅行
- 3年生英語圏への研修
- 2年生青島キャンプ

9

September

- 始業式
- 国数英課題試験
- 文芸コンクール
- 創立記念日

## 校外学習・修学旅行

校外学習では、事前学習をもとに生徒だけで奈良の遺跡や寺社を見学します。修学旅行では九州各地を訪れ、卒業レポートの現地調査や平和学習を行います。

10

October

- 中間試験
- 秋季宗教運動
- 人権教育講演会

11

November

- 文化祭
- 3年生修学旅行
- 1・2年生校外学習
- マラソン大会

12

December

- 期末試験
- 球技大会
- クリスマス  
燭火賛美礼拝
- 終業式

1

January

- 始業式
- 入学試験

2

February

- 日本語弁論大会
- 英語弁論大会
- 3年生学年末試験

3

March

- 1・2年生学年末試験
- 卒業式
- 映画会
- 大掃除
- 終業式



動画で詳しく



## 関西学院中学部生の1日

08:20までに登校



阪急甲東園駅または阪急仁川駅から、徒歩で登校。

08:30 授業(1時間目)



09:25 礼拝



最も大切にしている祈りの時間。毎朝、全校生徒と教員が参加します。

09:55~11:35  
授業(2・3時間目)



土曜日は  
授業終了

11:35 昼食



HR教室や中庭、食堂で友人と弁当や学食を食べてすごします。

12:25~15:00  
授業(4~6時間目)



15:10~15:35  
全校駆け足(7時間目)



週4日、3km以上を目標に、全校生徒と教員も参加で実施。※水・土除く

水曜日は  
通常授業  
(~15:55)

15:45 終礼



放課後



多くの生徒がクラブ活動や生徒会活動に参加しています。

18:00 下校



下校完了  
冬期 17:30  
土曜日 16:00

※冬期:11月~1月



# SCHOOL UNIFORM

## 制服紹介

キリスト教主義に基づく人間教育を実践するというメッセージを込めた品格ある制服を採用。男子生徒の冬服は伝統を受け継ぐ黒の詰襟で、襟には三日月の襟章をつけます。一方、女子生徒の制服(冬服)はジャケット、ジャンパースカートに加えスラックスも導入しています。夏服は男女ともに規定のポロシャツを中心に構成しています。



女子夏服カーディガン



男女セーター



女子スラックス



# FACILITIES

スパニッシュ・ミッション・スタイルの美しいキャンパスで学ぶ



- 1 中学部
- 2 高中部本部棟
- 3 中学部体育館
- 4 高中部礼拝堂
- 5 高等部
- 6 関西学院大学図書館
- 7 関西学院大学博物館(時計台)
- 8 中央芝生
- 9 第2フィールド
- 10 第3フィールド
- 11 第4フィールド
- 12 上ヶ原(バス停)
- 13 関西学院前(バス停)

関西学院中学部は大学と同じ上ヶ原キャンパスに立地しています。W.M.ヴォーリスがキリスト教主義のもとに設計した美しい校舎が特長です。中学部の生徒は、大学の図書館・グラウンド施設も利用可能です。



動画で詳しく





# 関西学院について



創立者  
**W.R. ランバス**  
Lambath, Walter Russell  
(1854-1921)

アメリカ人宣教師W.R.ランバスは1886年に伝道の責任者として来日。1889年、キリスト教主義教育による人間教育を実践するために関西学院を創設し、その後も、国境や民族の壁を超え、世界市民(World Citizen)としての一生を送りました。



第4代院長・初代学長  
**C.J.L. ベーツ**  
Bates, Cornelius John Lighthall  
(1877-1963)

1920年に第4代院長に就任。「私達が主たらんと欲する真の意味は、自分の一個の富を求めただけではなくて、それによって世に仕えるためなのである」として、「Mastery for Service」(奉仕のための練達)を提唱。現在も学院全体のスクールモットーとして受け継がれています。



新制中学部初代部長  
**矢内 正一**  
Masaichi Yanai  
(1900-1984)

1947年、戦後の新制中学部初代部長となった矢内正一は、以後18年間現在の中学部の礎を築きました。イギリスのパブリック・スクールを教育の理想とし、中学部を学問と精神、身体を自己鍛錬する場として、中学部教育の支えとなる駆け足、読書教育などさまざまな取り組みを実践しました。

## 校章の意味



1894(明治27)年に制定された、三日月の校章。

この校章は、「今は不完全な私たちですが、新月がやがて満月となっていくように絶えず向上していきたい」という願いを表しています。

また、月は自ら光を放つのではなく、太陽の光を受けて暗い夜を照らしています。

「私たちも神の恵みを受けて、世の中を明るく照らしていきたい」。そんな願いも込められています。

## 院長・中学部長メッセージ

### 世界市民を育む

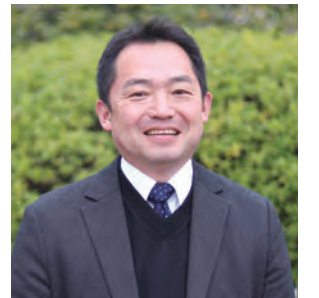
関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”を提唱した第4代ベーツ院長は、関西学院の教育は「生まれながらに持っている才能を導き出すことです。その目的は、学生が自分の考えを持ち、自分の言葉で語れるようにするためです。自ら進んで行動する精神と自信と自制心を育てるためです」と語りました。多様性を尊重するやわらかな心、世界を知る広い知識、しっかりと自己を持つ強さ。これこそ、グローバル化し、多様性が尊重される現代において世界市民として身につけるべき力です。130年にわたる歴史とともに、世界市民を育ててきた中学部の教育にぜひ出会っていただきたいと思います。



関西学院 院長 **中道 基夫**

### 平和と幸せは自立と共生が創る

いつの時代、どの場所でも自分を大切にすることは大切です。また、他者の思いに心を寄せ、共感し、多くの人々の平和と幸せを目指して生きようとするのも大事です。それがよりよい社会を創ります。私たちはキリスト教主義教育を基とし、自分自身を真に生かす自立と隣人や仲間と共に生きる共生の中で世界市民と呼ばれるにふさわしい品位と教養を生徒と教師が共に培いたいと思います。そうした豊かな人生の礎となる学びの場、それが関西学院です。



関西学院 中学部長 **宮川 裕隆**

## PTA・校友会活動・同窓会

### 関西学院後援会



関西学院の学生・生徒・児童の保護者によって設立され、関西学院の教育目的を達成するため、関西学院の教育・研究活動および正課・課外活動の活性化や、保護者とのコミュニケーションの推進と緊密化を目的とした事業などを行います。

### 同窓会



母校を誇りに思う卒業生が、世代を超えて集う同窓会。関西学院全体の同窓会活動に加え、中学部同窓会が単独で行う活動も積極的に実施しています。同じ学び舎で学び、現在は国内外で活躍する同窓生が有形・無形の支援を行います。

### PTA



生徒・教員・家庭の三者の協力と信頼関係を重視する中学部において、PTA活動は重要なものとなります。各種学校行事への参加や、年3回の「PTAだより」発行、学期ごとのPTA集会やクラス集会など活発に活動しています。

## 友情によって紡がれた関学ファミリーの基盤

中学部同窓会にはすべての中学部卒業生が登録され、現在では1万人を超える大規模な同窓会になっています。各学年で行われている活発な同窓会に加えて、5年に一度合同同窓会が行われ、80歳を超える第1回をはじめとして60学年以上の卒業生が一同に集まり、盛大な式典が行われます。母校愛に満ち溢れる卒業生はそれぞれが友情によって横に紡がれ、中学部同窓会ではさらにその友情を縦に紡いでいきます。今やその繋がりは日本中に広がり、世代や職業の壁を越えて「関学ファミリー」の基盤を形成しています。



中学部同窓会長 **水野 明人**

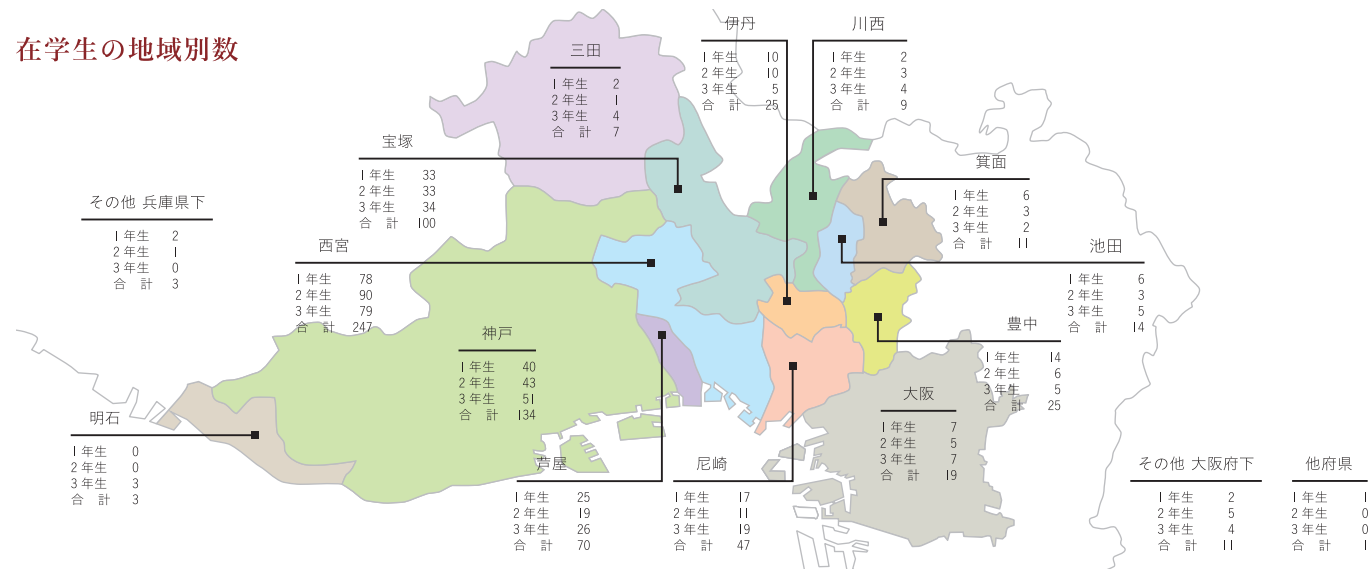


# 入試データ・奨学金制度

在籍生徒数 (2024年4月1日現在)

1年生 **245**名    2年生 **233**名    3年生 **248**名    合計 **726**名

在学生の地域別数



入学試験 (2024年度)

A日程	男子(募集人数65名)	①受験者・合格者		②科目別受験者平均点			③合格者最高点・最低点	
		受験者	合格者	国語(200点)	算数(200点)	理科(100点)	最高点(A500点)(B410点)	最低点(A500点)(B410点)
		142	70	123	128	62	431	324
	女子(募集人数35名)	81	47	141	143	66	455	349
B日程	男子(募集人数25名)	170	57	143	110	—	371	280
	女子(募集人数15名)	119	65	160	123	—	388	288
帰国生	(募集人員若干名)	4	2	—	—	—	—	—

入試概要 (予定)    **出願資格** 2025年3月小学校卒業見込の者    **検定料** 20,000円    **出願期間** 入学試験要項に記載

I一般入試(A日程)

2025年1月18日(土) 8:30~15:30頃	午前			午後
	60分	60分	45分	
国語 200点	算数 200点	理科 100点	面接	

■募集人員 約100名(男子:約65名 女子:約35名)  
■合格発表 2025年1月19日(日)~1月21日(火)  
本校Webサイト掲載

I一般入試(B日程)

2025年1月21日(火) 8:30~12:00頃	午前	
	60分	60分
国語 200点	算数 200点	

※A日程・帰国生入試を受験した者には、合計点に10点を加算する。  
■募集人員 約40名(男子:約25名 女子:約15名)  
■合格発表 2025年1月22日(水)~1月24日(金)  
本校Webサイト掲載

II帰国生入試

2025年1月18日(土) 8:30~13:00頃	60分	60分		
	国語	算数	英語 面接	保護者 同伴面接
募集人員 若干名 合格発表 2025年1月19日(日)~1月21日(火) 本校Webサイト掲載				

① 小学校中高学年における海外での在住年数が2年以上の者で、現地校もしくはインターナショナルスクールに在籍している者が望ましい。  
② 原則として、事前に部長または副部長との面談が必要です。

卒業生

[ 中学部卒業生の進路 ]

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
卒業生数	244	250	239
関西学院高等部	230	228	222
関西学院千里国際高等部	0	1	1
他の高校等	14	21	16

[ 高等部卒業生および関西学院大学進学状況 ]

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
卒業生数	381	382	378
神学部	0	0	0
文学部	28	25	25
社会学部	50	50	50
法学部	46	52	30
経済学部	65	61	68
商学部	75	75	75
人間福祉学部	21	20	20
国際学部	25	25	25
教育学部	16	8	19
総合政策学部	10	6	13
理学部	2	3	0
工学部	13	16	12
生命環境学部	4	8	2
建築学部	7	12	8
合計	362	361	347

●他大学合格状況 2024年(現役): 国際基督教大学・東京大学・京都大学・大阪大学・兵庫医科大学

## 学校生活への質問

Q1 共学化しましたが、男女比はどうなっていますか?

A1 男女比は約5:3で構成しています。入試もこれを前提とし、一般入試の募集定員は男子約90名、女子は約50名となっています。

Q2 登下校はどのようなルートになりますか?

A2 阪急電車を利用する生徒は、最寄の甲東園駅か仁川駅から徒歩で通学します。また、西宮北口・JR西宮方面からの登校についてはバスの利用を認めています。「一ヶ谷町」か「愛宕山」で下車し、そこから徒歩で通学します。中学生の自転車通学やバスの使用は原則認めていません。

Q3 携帯電話やスマートフォンの扱いはどうなっていますか?

A3 学校に持ってくることは認めていません。また、学校としてはSNSの利用などは推奨していません。

Q4 昼食はお弁当を持参するのですか?

A4 入学当初はお弁当持参ですが、「食堂利用の方法」を学年で指導したあとは食堂利用も可能です。成長期の栄養バランスを考慮し、中学生は「ヤングランチ(530円/小490円)」を食べるルールになっています。それに加えて食堂内のパンショップで軽食を購入することもできます。支払いは生協カード(ICカード)、現金のどちらでも可能です。

Q5 制服や体操服以外の制成品はありますか?

A5 制服や体操服以外に制成品はありません。通学カバンは華美なものではなく自由です。通学の際の靴は、黒色の装飾のない革靴(タッセルやヒールは不可)か黒色の運動靴(靴紐や靴裏もふくめて黒一色のもの)と定められています。

Q6 奨学金について教えてください

A6 関西学院では、経済的な理由により学ぶことをあきらめざるを得ない生徒がいないように願っています。そのためいろいろな奨学金を用意しています。

- ① 関西学院高等部・中学部支給奨学金  
年間授業料の1/2
- ② 関西学院高等部・中学部貸与奨学金  
第1種 年間授業料の2分の1  
第2種 年間授業料の3分の1  
第3種 年間授業料の4分の1
- ③ 関西学院高等部・中学部特別支給奨学金  
年間授業料の全額